

(平成22年9月分)

部 門	市況の概要
野 菜	9月期の野菜の入荷状況は、高温、干ばつの影響、北海道においては、高温、多雨の影響により多くの品目で作柄が悪く野菜全体の入荷量は、前年同期を11%下回った。 価格は、入荷減により多くの品目で単価高となり、野菜全体としては、前年同期を20%上回った。 品目別には、西洋にんじん、ほうれんそう、はくさい、レタス、きゅうり、ピーマン、トマト、ナスが入荷減の単価高、キャベツが入荷減の単価前年並み、玉葱が入荷減の単価安、長大根、ばれいしょが入荷前年並みの単価高となった。 根菜類は、入荷が7%減少し、価格は12%高となった。 葉菜類は、入荷が11%減少し、価格は31%高となった。 果菜類は、入荷が20%減少し、価格は37%高となった。 土物類は、入荷が8%減少し、価格は16%高となった。
果 実	9月期の果実の入荷状況は、開花期の天候不順と夏場の高温、干ばつの影響により多くの品目で作柄が悪く果実全体の入荷量は、前年同期を24%下回った。 価格は、入荷減により多くの品目で単価高となり、果実全体としては、前年同期を48%上回った。 品目別には、みかん、津軽りんご、豊水梨、二十世紀梨、刀根・平核柿、巨峰が入荷減の単価高となり、アールスメロンが入荷減の単価並みとなった。 柑橘類は、入荷が41%減少し、価格は32%高となった。 りんご類は、入荷が20%減少し、価格は55%高となった。 梨類は、入荷が26%減少し、価格は79%高となった。 柿類は、入荷が79%減少し、価格は81%高となった。 ぶどう類は、入荷が18%減少し、価格は24%高となった。 メロン類は、入荷が10%減少し、価格は3%高となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	北海道を中心に、青森県、兵庫県、岩手県、新潟県からの入荷。 主力の北海道で高温、多雨の影響により作柄が悪かったが、中央集散機能が発揮され、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、全国的な品薄状態から前年同期を10%上回った。
西洋人参	北海道を中心に、オーストラリア、中国、愛知、岩手から入荷。 主力の北海道で高温、多雨の影響により作柄が悪く、入荷減となった。一方、オーストラリア産や中国産は、入荷が著しく増加したものの、全体の入荷量は、前年同期を15%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を31%上回った。
【葉菜類】	
はくさい	長野県を中心に、北海道、群馬県からの入荷。 長野県、群馬県では、生育期の高温、干ばつの影響、北海道では、高温、多雨の影響により作柄が悪く、入荷量は、前年同期を7%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を8%上回った。
キャベツ	群馬県を中心に、長野県、北海道からの入荷。 群馬県、長野県では、生育期の高温、干ばつの影響、北海道では、高温、多雨の影響により作柄が悪く、全体の入荷量は、前年同期を9%下回った。 価格は、入荷減ながら、前年が著しい単価高であったことから、前年同期並みとなった。
ほうれんそう	岐阜県を中心に、北海道、茨城県、和歌山県、滋賀県からの入荷。各産地ともに生育期の高温、干ばつの影響により作柄が悪く、入荷量は、前年同期を49%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を60%上回った。
レタス	長野県を中心に、北海道、茨城県からの入荷。 主力の長野県で、8月からの高温、干ばつと9月下旬以降の急激な気温の低下などの影響により結球不良や病害の発生がみられ全体の入荷量は、前年同期を11%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を38%上回った。
【果菜類】	
きゅうり	福島県を中心に、北海道、京都府、滋賀県、愛媛県からの入荷。 各産地ともに生育期の高温の影響により作柄が悪く、入荷量は、前年同期を13%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を61%上回った。

なす	京都府を中心に、徳島県、高知県、奈良県、岐阜県からの入荷。 各産地ともに生育期の高温、干ばつの影響により花落ちなどの障害が発生し、入荷量は、前年同期を12%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を48%上回った。
トマト	岐阜県、北海道を中心に、茨城県、京都府、滋賀県からの入荷。 各産地ともに生育期の高温の影響により作柄が悪く、入荷量は、前年同期を32%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を29%上回った。
ピーマン	茨城県、大分県を中心に、兵庫県、福島県からの入荷。 各産地ともに生育期の高温の影響により作柄が悪く、入荷量は、前年同期を17%下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を121%上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイク含む)	北海道を中心に、青森県、長野県からの入荷。 主力の北海道で生育期の高温と多雨の影響により作柄が悪く、入荷減となったものの、全体の入荷量は、中央集散機能が発揮されたことにより、前年同期並みとなった。 価格は、全国的な品薄状態が続いており、前年同期を27%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に、兵庫県、京都府、中国からの入荷。 主力の北海道で生育期の高温と多雨の影響により作柄が悪く、小玉傾向での入荷となった。全体の入荷量は、前年同期を9%下回った。 価格は、入荷減ながら、前年高値であったことから、前年同期を5%下回った。
【その他野菜】 松茸	中国を中心に、アメリカ、韓国、メキシコ、カナダからの入荷。 主力の中国からの入荷が順調であったことから、全体の入荷量は、前年同期を13%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を27%下回った。
栗	愛媛県を中心に、熊本県、茨城県、京都府、島根県からの入荷。 各産地とも高温の影響による生育の遅れから、入荷量は前年同期を48%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を23%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
みかん	宮崎県を中心に、福岡県、和歌山県、熊本県、佐賀県からの入荷。 各産地とも高温、干ばつの影響により小玉傾向であったこと、また、日焼け果が多発したことにより入荷量は、前年同期を41%下回った。 価格は、入荷減に加え、食味良好であったことから前年同期を40%上回った。
津軽 （サン含む）	青森県を中心に、長野県、岩手県、山形県、秋田県からの入荷。 各産地とも夜温が下がらず高温が続いた影響により日焼け果が多発し、入荷量は、前年同期を21%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を62%上回った。
豊水梨	長野県を中心に、富山県、福島県、鳥取県、滋賀県からの入荷。 各産地とも開花期の天候不順による着果不良、夏場の高温の影響による日焼け果の多発により入荷量は、前年同期を32%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を69%上回った。
二十世紀梨	鳥取県を中心に、長野県、京都府からの入荷。 各産地とも開花期の天候不順による着果不良また、夏場の高温、干ばつの影響により小玉果傾向であったことから、入荷量は、前年同期を36%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を96%上回った。
刀根・平核無柿	和歌山県を中心に、奈良県からの入荷。 各産地とも高温、干ばつの影響により作柄が悪く、入荷量は、前年同期を78%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を82%上回った。
巨峰	長野県を中心に、山梨県、福岡県からの入荷。 各産地とも高温の影響により、着色不良や日焼け果が多発し入荷量は、前年同期を29%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を24%上回った。
アールスメロン	茨城県を中心に、静岡県、石川県、長野県、愛知県からの入荷。 愛知県産は、作付面積の減小により入荷減となる一方で、その他産地からの入荷は順調で、全体の入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は、入荷増ながら、業務用の堅調な需要により前年同期並みであった。